

子育て応援券で  
購入できます

# 絵本って おもしろい!

図書館の人たちが選んだ  
赤ちゃんからの  
読み聞かせ絵本リスト



## この絵本リストについて

本書は、初めて読み聞かせをする人のために100冊の絵本を選んだものです。0歳から小学校低学年位までを対象とし、赤ちゃん向けから順に、成長に合わせて並べてありますが、順番はあくまで目安です。

これらの絵本を選ぶに当たって申し合わせたことは次の通りです。

- ① テーマがわかりやすくおもしろいこと
- ② 絵にぬくもりが感じられること
- ③ ストーリーの起承転結がはっきりしていてわかりやすいこと
- ④ 絵と文のバランスを保っていること
- ⑤ 声に出して読んでみて、自然なこと

また、赤ちゃん向けの絵本については、特に次の点を重視しました。

- ① きれいな色で明るく温かみのある絵のもの
- ② 身近なテーマでシンプルなストーリーのもの
- ③ 声に出して読んだときにリズムカルなもの
- ④ わかりやすく繰り返しのあるもの

本書の絵本は、2010年3月現在、出版社に在庫のあるものを選んであります。最寄りの図書館をご覧ください。書店で購入もできます。(子育て応援券が利用できます。) 本書は富山県のホームページでご覧いただけます。

<http://www.pref.toyama.jp/sections/3009/hp/e-book.html>

### 絵本っておもしろい!

～図書館の人たちが選んだ  
赤ちゃんからの読み聞かせ絵本リスト～

平成22年5月発行  
平成23年12月増刷

編集 富山県図書館協会  
発行 富山県教育委員会  
〒930-8501 富山市新総曲輪1-7  
TEL 076-431-4111

# はじめに

読書は、ことばを学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできない大切な営みです。

特に、子どもの読書習慣は日常生活の中で身に付くものであり、読書が生活の中に位置づけられるよう、配慮することが大切です。ご家庭では、親が読み聞かせをしたり、子どもと一緒に本を読んだり、図書館へ出向いたりするなど、読書への興味や関心を引き出すことが望まれます。

今回、平成22年「国民読書年」を記念して、ご家庭での読み聞かせにふさわしい絵本をご紹介するため、本書を作成しました。編集にあたっては、富山県図書館協会の全面的なご協力をいただいたことをこの場をかりてお礼申し上げます。

本書を通して、子どもが読書の楽しさにふれるきっかけとなり、親子のふれあいが深まり、豊かな感性や、人として生きるための力を養っていただくよう願っております。

平成22年5月

富山県教育委員会 教育長 東野 宗朗

## 読み聞かせのすすめ

読み聞かせは、本を見せながら音読をすることです。保護者が自宅で一人の子どもに、あるいはボランティア・司書・保育士・教師などが子どものグループを対象に行うことも広がっています。とくに、絵本の多くは大人が子どもに読んであげる前提で作られています。

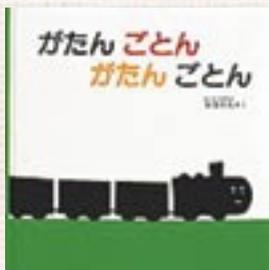
子どもは耳で言葉を聞きながら目で絵を見て、物語の世界の情景を頭の中に描いている筈ですから“豊かな言葉と心”をもった子どもの成長には欠かせない機会です。

本書は富山県内の図書館員 18 名が絵本を選び、解説を執筆した「読み聞かせ絵本リスト」を基に新たに発行したものです。

今年、2010 年は“じゃあ、読もう”をキャッチフレーズとして、本の楽しさをより多くの人々に広めるための「国民読書年」です。どうぞ、本書を手引きとされて各家庭をはじめ、さまざまな場で子どもたちへの読み聞かせの機会をさらに広めていただくことを願っております。

平成22年5月

編集代表 参納 哲郎（富山県図書館協会会長）



## 『がたんごとん がたんごとん』

安西 水丸 さく

福音館書店

735円

かわいい黒い汽車が「がたんごとん がたんごとん」とやってきます。途中、赤ちゃんの好きな哺乳びんやコップ、スプーン、りんごなどが「のせてくださーい」と待っています。「がたんごとん」のリズムに乗って読んでいくうち、自然に体が揺れて楽しさが広がります。



## 『あつぷつぶ』 あかちゃんあそぼ

中川 ひろたか 文

村上 康成 絵

ひかりのくに

924円

「だるまさん だるまさん にらめっこしましょ わらうとまけよ あつぷつぶ」おさるさんも、ぶたさんも、おかあさんもみんなあつぷつぶ。

最後に「もういっかいやってあつぷつぶ」という一言が、何度もくり返す遊びの楽しさを伝えています。



## 『おつむてんてん』 あかちゃんとおかあさんの絵本1

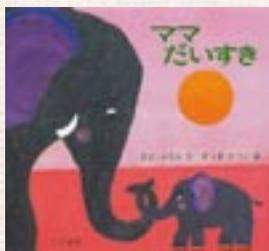
なかえ よしを さく

上野 紀子 え

金の星社

819円

「さっちゃんが おつむ てんてん おくちは あわわ」をしました。それをみていたねこも、いぬも、あひるもまねをして「おつむてんてん おくちはニャニャニャ ワンワンワン ガーガーガー」とまねをします。いっしょに遊びたくなってくる絵本です。



## 『ママだいすき』

まど・みちお 文

ましま せつこ 絵

こぐま社

945円

ぶた、とり、ねこなどの動物の母親と子どもがながよく描かれています。「おによ むによ おによ むによ」「おはなし もによ もによ」など詩人ならではの言葉と、温かみのある色使いの絵から、「ママだいすき」という気持ちが伝わります。



## 『ばいばい』 まついのりこあかちゃんのほん

まつい のりこ 作・絵

偕成社

630円

黄色いひよこが出てきて「こんにちは」頂をめくるとにっこりと手をふって「ばいばい」黒い縁取りではっきりと描かれた動物たちが、順番に出てきてご挨拶します。「こんにちは」「ばいばい」の心地よい繰り返しを楽しめます。小型のしっかりした厚紙製で持ち運びにも便利です。



## 『てんてんてん』 0.1.2. えほん

わかやま しずこ さく

福音館書店

735円

「てん てん てん」赤に黒い点々はてんとうむし。「ぐるぐるぐる」うずまきはかたつむり。ひらひら黄色いのは何かな。頁をめくると何が出てくるのか想像する楽しみがあります。身近な虫たちをはっきりとした色使いで描いて、赤ちゃんの興味を引きまます。



## 『だっこだっこ ねえだっこ』 長新太のねえねえ・えほん1

長 新太 さく

ポプラ社

893円

ねこの赤ちゃんはお母さんねこに「にゃんにゃん にゃんにゃん ねえ だっこ」パンの赤ちゃんも「ふかふかふかふか ねえ だっこ」靴やアイスクリームもみんなだっこが大好き。だっこされた赤ちゃんたちの幸せそうな様子がやさしい気持ちにしてくれます。



## 『あがりめ さがりめ』

いまき みち さく

福音館書店

630円

「あーがりめ さーがりめ ぐるりと まわって ねーこのめ」「いないいなーい ばー」お馴染みの遊び歌が2つ組み合わせた本です。シンプルではっきりとした色彩の絵が、遊び歌をもっと楽しいものになっています。



## 『おててがでたよ』くつつあるけのほん2

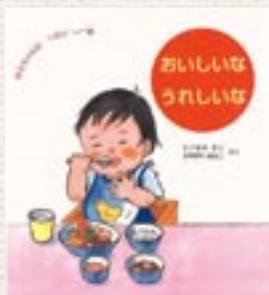
林 明子 さく

福音館書店

735円

頭から服をかぶった赤ちゃんが、「あれあれあれ なんにもみえない おててはどこかな ぱっ おててがでたよ」次に頭、そしてお顔にあんよがでてきました。

柔らかな肌まで感じられるような絵で、表情豊かな赤ちゃんを表現しています。



## 『おいしいな うれしいな』ゆうちゃんは1さい③

とくながまり みやざわ はるこ さく

アリス館

1,050円

ゆうちゃんのお食事が始まります。おててで食べたり、おさじで食べたり、こぼしたり。たくさん食べて「ごちそうさま あー おいしかった」食器はきれいにからっぽになりました。

何でも自分でやるのが楽しくてしかたがない1才児の様子が生き生きと描かれています。



## 『はしるの だいすき』0.1.2. えほん

わかやま しずこ さく

福音館書店

735円

鮮やかな色彩と力強い線で描かれた動物たちが、画面からはみでそうな勢いで走っています。

「ぱんか ぱんか」「ずんか ずんか」と、ユニークな擬態語にあわせて、体を動かしながら読んであげると、動物たちと一緒に走り回っているような楽しさが味わえます。



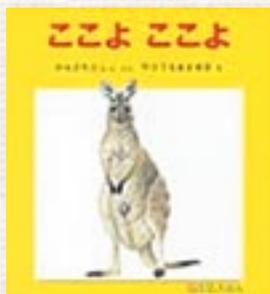
## 『とつとこ とつとこ』

まつい のりこ さく

童心社

840円

「ねこさん くつはいて とつとこ とつとこ」「ありさん くつはいて とつとこ とつとこ」ぶたさんもへびさんもみんなとつとことつとこ。登場するものによってそれぞれ違う「とつとこ」のリズムがユーモラスで、靴を履いて歩くことが嬉しくてならない様子が伝わってきます。



## 『ココよ ここよ』 0.1.2. えほん

かんざわ としこ ぶん やぶうち まさゆき え

福音館書店

735円

「どこにいるの? コアラのあかちゃん」頁をめくると「ココよココよ かあさんにおんぶよ」にわとり、らっこ、ペンギンなど、なかよく寄り添った動物の親子が次々に出できます。安心しきった赤ちゃんと愛情いっぱいのお母さんの表情が、微笑ましい絵本です。



## 『どうぶつのおかあさん』

小森 厚 ぶん 藪内 正幸 え

福音館書店

840円

「おかあさんねこは こどもを くわえて はこびます。」「おかあさんざるは こどもを おなかに しっかりしがみつかせて はこびます。」いろいろな動物のお母さんが、子どもをつれて移動する様子を写実的な絵で描いています。子どもの安心感が伝わってくる絵本です。



## 『のって のって』 けんちゃんとおそぼう1

くろい けん さく・え

あかね書房

1,050円

「のってのって ブルンブルン けんちゃんの オートバイ はやいはやい」パトカー、消防車とけんちゃんの車はなんにでも変身します。

最後の頁にはいろいろな乗り物が大集合! 車が大好きな子どもが自由に想像を巡らせて楽しめる絵本です。



## 『お風呂でちゃぶちゃぶ』 松谷みよ子あかちゃんの本

松谷 みよ子 文 いわさき ちひろ 絵

童心社

735円

あひるちゃんが、タオルとせっけんを持ってお風呂に行きます。あひるちゃんの「はやくおいでー」のさそいで、男の子も急いで服を脱いでいきます。

淡い水彩で描かれた絵が温かいお風呂をイメージさせます。



## 『あそびましょ』 ちいさなしかけえほん1

かどの えいこ さく おおしま たえこ え

あかね書房

788円

「きりんさん あそびましょ」隠れている部分をめくると、きりんの首がのびてすべりだいにになりました。へびは縄跳びに、ぞうの鼻はシャワーに。次は何になるのかな？頁をめくる楽しみが膨らみます。



## 『まる まる』

中辻悦子 さく

福音館書店

840円

「まるまる さんかく」「まるまる しかく」「まるまる ぶにやり」くり抜かれた二つのまるい穴と単純な線がいろいろな表情を作り出します。

「まるまる」のくり返しが耳に心地よく、カラフルな絵が楽しいしかけ絵本です。



## 『がちゃがちゃ どんどん』

元永 定正 さく

福音館書店

840円

「がちゃがちゃ どんどん かーんかーん ちんちん りんりん どさん ぼんぼん ぐにやぐにや ぼきん」いろいろな音を単純で鮮明な絵で表現しています。頁をめくるたびに、本当ににぎやかな音が聞こえてきそうな絵本です。



## 『ぼばーぺ ぼびぱっぷ』

谷川 俊太郎 文 おかざき けんじろう 絵

クレヨンハウス

1,260円

「ばばべ ばぶほび ぼばぶほび ばべほぶべ？」ばびぶべの音にあわせてカラフルな色彩で描かれた不思議なかたちのものが絵本いっぱいにはじけます。

大胆で自由な絵と楽しい音が飛び出してきそうな元気な絵本です。



## 『でてこい でてこい』 0.1.2. えほん

はやし あきこ さく

福音館書店

735円

「だれか かくれてるよ でてこい でてこい」鮮やかな色の四角や丸の中から、切り絵のように描かれたかえるやうさぎなどが飛び出てきます。色や形から次は何か出てくるかなと想像し、イメージが膨らみます。



## 『たんたん ぼうや』 0.1.2. えほん

かんざわ としこ ぶん やぎゅう げんいちろう え

福音館書店

735円

「たんたん ぼうやが あるけば たんたん あとからだれかも たんたんたん」  
次々出てくる動物たちのまねをして跳んだり、はねたり、あくびをしたり…。テンポのよい言葉によって一緒に歩き出したいくなります。



## 『いちにのさんぽ』 ほかほかえほん1

ひろかわ さえこ 著

アリス館

840円

「いちにいちに いちにのさんぽ さんぽぽくぽく いいきもち」リズムカルな言葉に誘われて思わず手足が動き出しそうです。散歩の途中であったありやいぬ、くま、そしてきょうりゅうも一緒になっていちに いちに…。  
子どもの目線で描かれたシンプルな絵が生きています。



## 『にんじん』

せな けいこ さく え

福音館書店

630円

「にんじんの すきなこ だあれ うまさんは にんじんが すき だいすき ああ おいしい」きりんも、さるも、うさぎもみんなにんじんが大好き。

おいしそうなにんじんが、カラフルなちぎりが絵から伝わってきます。



## 『ねないこだれだ』

せな けいこ さく え

福音館書店

630円

「とけいが なります ボン ボン ボン…… こんなじかんに おきてるのは だれだ？」ふくろう、くろねこ、それともどろぼう…。「いえ いえ よなかは おばけのじかん」ちよっぴり怖くて面白い、お休み前に読みたい絵本です。



## 『おつきさま こんばんは』

林 明子 さく

福音館書店

735円

暗い夜空に、まんまるお月さまがゆっくり昇って来ました。「おつきさま こんばんは」そこへ黒い雲が現れます。「くもさん どいて おつきさまのおかおが みえない」やがて、雲は去り、満面笑顔のお月さまが現れました。月の美しい夜に読んでみたい1冊です。



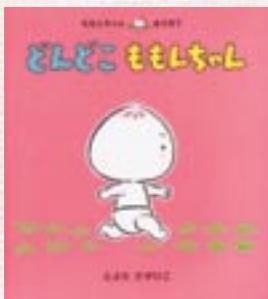
## 『かささしてあげるね』 0.1.2. えほん

はせがわ せつこ ぶん にしまき かやこ え

福音館書店

735円

動物たちの背中に雨が降ります。ピッチャン パッチャン ピロリン ポロリン ピピ ポポ…。そこで男の子がぞうさんには大きな傘、きりんさんには長い傘、ありさんには小さな傘をさしてあげます。いろいろな雨の音がリズムカルで、雨の日が楽しくなります。



## 『どんどこ ももんちゃん』 ももんちゃん あそぼう

とよた かずひこ さく え

童心社

840円

「どんどこ どんどこ どんどこ どんどこ ももんちゃんが いそいでいます」くまさんに通せんぼされても、転んで頭をぶつけても、ももんちゃんは急いでいます。そんなに急いでどこへ行くの？

ももんちゃんのおもしろい表情に目が離せなくなります。



## 『おととと』しろくまパパとあそぼう1

とよた かずひこ 著

岩崎書店

840円

ぼくよりずっと大きなお父さん。「ぼくもはやく おおきくなりたいな」と思っていたら、お父さんが肩車をしてくれたよ。「おととと」と揺れるからぼくはどきどきなんだ。

ユーモラスな言葉と絵で、おとうさんと子どもの楽しいふれあいを描いています。



## 『ないているこだあれ』にしまきかやこ あかちゃんの本

にしまき かやこ 作

こぐま社

1,050円

一人でお留守番して泣いているのは、うさぎのぼうや。でもお母さんが帰ってきたのでにっこり。あんよをけがして泣いているのは、くまのこちゃん。でもお父さんが来てもう安心。あれあれ、ななこちゃんも泣いています。どうしたのかな？



## 『たたくとぼん』たまごのほん

寺村 輝夫 さく 和歌山 静子 え

あかね書房

893円

卵を「ぼん」とたたくとひよこが生まれ、ひよこをたたくとめんどりになり、めんどりをたたくと卵を産みました。たくさんの卵から「ぼんぼんぼん…」とひよこたちが生まれ、「わんつう わんつう」とどこまでも歩いていきます。

展開がおもしろく、リズムカルな言葉が楽しい絵本です。



## 『こちょこちょこちょ』ほっぺっぺえほん

うちだりんたろう ながの ひでこ 作

童心社

840円

さっちゃんはこちょこちょするのが大好きです。「こんにちは」と挨拶して「こちょ こちょ こちょ」怖い顔したライオンも、オバケやバスもさっちゃんにこちょこちょされて大喜び。「ちくんするぞ」と驚かしたヤマアラシも、こちょこちょしてほしくて針をねかせてやってきました。



## 『たてたて よこよこ』ひよこブック

いしい じゅね 絵

らくだ出版

525円

「たてたて よこよこ そりかえる」「たてたて よこよこ ひっくりかえる」女の子が動物たちや野菜、果物と一緒にからだを曲げたり、伸ばしたりします。

読みながら体を動かしてみたいくなる、手のひらサイズの絵本です。



## 『びょーん』はじめてのぼうけん1

まつおか たつひで 作・絵

ポプラ社

819円

「かえるが… びょーん こねこが… びょーん」と次々といろいろな動物が勢よく飛び上がります。絵本を縦に開くことで飛び上がる様子が、効果的に表現されています。

「びょーん」という音の繰り返し面白く、一緒に飛び上がりたくなります。



## 『かお かお どんなかお』

柳原 良平 作

こぐま社

840円

丸い顔の中に単純な線で目と口と鼻が描いてあります。それぞれの形や位置の違いで楽しい顔、悲しい顔、泣いた顔など、顔の表情が次々と変わっていきます。繰り返し見ていくうち、いろいろな表情の違いを感じ取れる絵本です。



## 『のりもの いっぱい』

柳原 良平 作

こぐま社

945円

乗り物とその名前が次々と紹介されていきます。シンプルに表現された自動車、電車などの様々な乗り物は、みんな真ん丸な目がふたつ付いていて、親しみやすい表情をしています。乗り物の名前を楽しく覚えることができる絵本です。



## 『でんしゃ』 バートンののりものえほん1

パイロン・バートン さく・え

こじまもる やく

金の星社

798円

「せんろです でんしゃが はしっています でんしゃのなかには おきゃくさんが いっぱい」貨物列車や蒸気機関車や線路を守っている人たちも見えます。電車はにぎやかな町の駅へ。

シンプルな絵で電車をトータルに描いた乗り物絵本です。



## 『ねこが いっぱい』

グレース・スカール さく

やぶき みちこ やく

福音館書店

735円

大きいねこと小さいねこ、しましまねことぼちぼちねこ、太ったねこと細いねこ。「ねこが いっぱい みんないっしょに にゃーお」

赤ちゃんにとって身近な動物のねこを、のびやかな線で表情豊かに描いています。



## 『こぐまちゃんおやすみ』

わかやま けん 作

こぐま社

840円

こぐまちゃんは8時になったら寝る準備をします。テレビを消して、自分でパジャマを着て、歯みがきです。お父さんと相撲をとったら大好きな絵本の時間。絵本を読んでもらい満足して眠りにつきます。子どもの日常生活がこぐまちゃんと重ね合わせて楽しめるシリーズの1冊です。



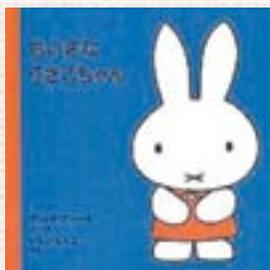
## 『うずらちゃんのかくれんぼ』

きもと ももこ さく

福音館書店

945円

「もういいかい まあだだよ」うずらちゃんがひよこちゃんとかくれんぼを始めました。色や形をうまく使ってお花に隠れたり、ひょうたんに隠れたりします。うずらちゃんと一緒にたかくれんぼ遊びをしている気分になる絵本です。



## 『ちいさなうさこちゃん』 子どもがはじめてであう絵本 1

ディック・ブルーナ ぶん・え 石井 桃子 やく

福音館書店

735円

大きな庭の真中のかわいい家に、うさぎのふわふわさんとふわおくさんが住んでいます。ある晩のこと、天使が、ふわおくさんに言いました。「あなたに赤ちゃんができませんよ」

うさこちゃんが生まれたときのお話です。



## 『たべたのだあれ』 どうぶつあれあれえほん

五味 太郎 さく

文化出版局

630円

「さくらんぼ たべたのだあれ」「いちご たべたのだあれ」動物の体に食べた物が隠れています。

頁をめくるとごとに増えていく動物の絵の中から、誰が食べたか探し出す遊び絵本です。



## 『はりねずみ かあさん』 0.1.2. えほん

まつや さやか ぶん M・ミトウーリチ え

福音館書店

735円

はりねずみかあさんは、子どもたちのためにリンゴを探しに出かけます。木から落ちてくるリンゴを背中の針で見事に受け止めて、子どもたちへ持ち帰りました。

子どものために頑張るたくましいお母さんが、淡い水彩画で温かく描かれています。



## 『おやすみなさい コッコさん』

片山 健 さく・え

福音館書店

840円

夜です。空の雲も、池の水も、魚も鳥も眠ったのに、起きているのはお月さまとコッコさんだけです。「おやすみなさい、コッコさん」とお月さまが言っても、「コッコはねむらないもん」と答えるだけです。

お休み前に、子どもに読んであげたい絵本です。



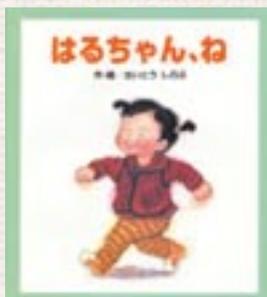
## 『ありのあちち』 0.1.2. えほん

つちはし としこ さく

福音館書店

735円

「なんだか おいしそうなのが ありそうだ」家の中へ入ってきたありは、テーブルの上のバナナを滑り台にして遊びます。せんべいやビスケットをつまみ食いしていくと、「しゅうしゅう」いう音が…。触ってみると思わずあちち。やかんで火傷をしたありの表情がなんともいえません。



## 『はるちゃん、ね』

さいとう しのぶ 作・絵

ひさかたチャイルド

840円

はるちゃんは何んでも一人でできます。トイレだってできるし、パンツだってひとりではけます。ママのお手伝いだってできるんです。だってはるちゃんはね…。

お姉ちゃんになるのが嬉しくてたまらない様子が、生き生きとした絵から伝わってきます。



## 『はけたよ はけたよ』

かんざわ としこ ぶん

にしまき かやこ え

偕成社

1,050円

立ったままでパンツがはけないたくん。そのまま出かけて、動物たちにしっぽのないつるんとしたおしりを笑われます。でも、自分のやり方を発見して、やっとパンツがはけました！

自分でやり遂げた満足感に共感できる絵本です。



## 『うたえほん』

つちだ よしはる え

グランまま社

1,575円

「ぞうさん」や「どんぐりころころ」など誰でも幼い頃に一度は耳にしたことがある歌、口ずさんだことのある歌が楽譜つきで26曲収められています。明るくかわいらしい挿絵のついた絵本をみながら、赤ちゃんと一緒に歌って楽しめます。他に「うたえほん」もあります。



## 『あがりめ さがりめ』 おかあさんと子どものあそびうた

ましま せつこ 絵

こぐま社

1,260円

表題のほか「げんこつやまのたぬきさん」など15の遊び歌が載っています。それぞれにあった美しい色彩の絵とわかりやすい解説、楽譜がついているので、遊び方を知らないお母さんたちも赤ちゃんと一緒に、楽しむことができる絵本です。



## 『しろくまちゃんのほっとけーき』

わかやま けん 作

こぐま社

840円

しろくまちゃんが、ホットケーキを作ります。卵、牛乳、小麦粉を混ぜたらフライパンで焼きます。ぼたあん、ぴちぴちぴち、ぷつぷつ、ふくふく…ポイツ。

見開きいっぱい描かれたホットケーキの、焼けるのが待ち遠しい絵本です。



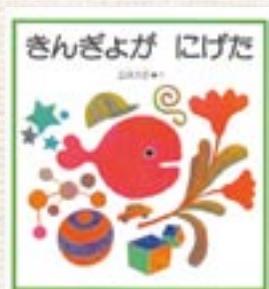
## 『のせてのせて』 松谷みよ子あかちゃんの本

松谷 みよ子 文 東光寺 啓 絵

童心社

735円

まこちゃんの赤い自動車が走ります。プー。「ストップ、のせてのせて」と、うさぎさん、くまさん、ねずみさんが次々に乗りました。まこちゃんの自動車が、皆と一緒にトンネルへ。くり返しが楽しい乗物絵本です。



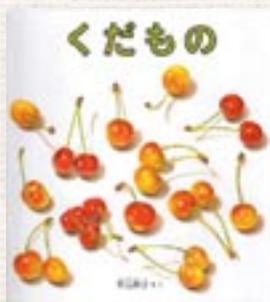
## 『きんぎょが にげた』

五味 太郎 作

福音館書店

840円

金魚鉢から1匹の赤い金魚が逃げ出しました。カーテンの模様の中にかくれたり、花の中にかくれたり。上手に見つけられるかな？だんだんと見つけにくいところにかくれる金魚を「あ、ここにいた」とさがす楽しみのある絵本です。



## 『くだもの』

平山 和子 さく

福音館書店

840円

すいかをわって「さあどうぞ」りんごをむいて「さあどうぞ」いちごをあらって「さあどうぞ」頁をめくるたびに、みずみずしい果物がお皿に盛ったり、フォークにさしたりして、でできます。「いただきます」と思わず手がでてしまう絵本です。



## 『もこもこもこ』

たにかわ しゅんたろう さく もとなが さだまさ え

文研出版

1,365円

「しーん もこ もこもこ によき によきよき」と大きくなったもこが、ぱちんとはじけて、「しーん」と、元の場面にもどる切りなし話です。

抽象的な絵と音の連なりを、それぞれの感性で楽しむ絵本です。



## 『たまごのあかちゃん』

かんざわ としこ ぶん やぎゅう げんいちろう え

福音館書店

840円

「たまごのなかで かくれんぼしているあかちゃんはだあれ？ でておいでよ」のくり返しによって、次々に生まれてくるひよこ、かめ、へび…の赤ちゃんたち。次の頁では何が生まれてくるのだろうか？ 頁をめくるたびに楽しさの広がる絵本です。



## 『ぼくのくれよん』

長 新太 おはなし・え

講談社

1,470円

そうのクレヨンは大きい。そうが青いクレヨンで池を描いたら、カエルが飛び込みました。赤いクレヨンで描いたら、「火事だー」と動物たちが逃げ出します。そうは、ついに3本のクレヨンを持ってかけ出しました。ダイナミックな絵が頁からとび出しそうです。



## 『ゆうたはともだち』 ゆうたくんちのいばりいぬ 1

きたやま ようこ 作

あかね書房

735円

「おれ、犬。おまえ、人間。おまえ、笑う。おれ、しっほふる。おまえ、たたく。おれ、かむ。」と語るのは、いばり犬のじんべい。犬の目から人間を見て比較するという視点で、犬の仲良しゆうた君との生活を生き生きと描いています。



## 『ねえ、どれがいい?』

ジョン・バーニングム さく

まつかわ まゆみ やく

評論社

1,575円

「もしもだよ、きみんちの周りが変わるとしたら、大雪と大雪とジャングルと、ねえ、どっちがいい?」君ならどれを選ぶ? 「もしもだよ」という質問に始まるこの本は、聞き手が2つのうちから1つ、また4つから1つを選ぶ、遊び絵本です。



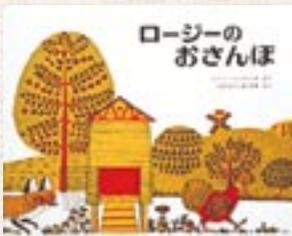
## 『タンタンのハンカチ』

いわむら かずお 作

偕成社

735円

おさるのタンタンが持っている赤いハンカチ。タンタンがおまじないを唱えたら、ハンカチは大きくなったり小さくなったり、自由自在。マントになっていじめっ子から友達を守った後は、空いっばいの夕焼けになりました。「タンタン」シリーズの中の1冊。



## 『ロージーのおさんぽ』

パット・ハッチンス さく

わたなべ しげお やく

偕成社

1,050円

めんどりのロージーが散歩に出かけました。後ろからきつねが追いかけてきます。何も知らないロージーと、ドタバタをくり返すきつねの対比が何ともおかしい。同色系の色彩と細かな線でデザイン化された絵が楽しい絵本です。



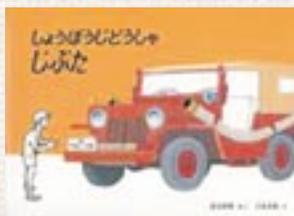
## 『だるまちゃんくてんぐちゃん』

加古 里子 さく・え

福音館書店

840円

だるまちゃんは、てんぐちゃんの持っているうちわが欲しくてなりません。家に帰って大さわぎ。代わりに、やつでの葉で満足します。それでも、だるまちゃんは、てんぐちゃんの持ち物を次々に欲しがります。ユーモアあふれる絵で親しみやすい絵本です。



## 『しょうぼうじどうしゃ じぶた』

渡辺 茂男 さく 山本 忠敬 え

福音館書店

840円

消防署には、はしご車ののっぽ君、高圧車のばんぶ君、救急車のいちもくさんと一緒に、古いジープを改良した小さな消防車じぶたがいました。出番がなくていつも肩身の狭いじぶたでしたが、山小屋が火事になった時、大かつやくします。



## 『ねずみくんのチョッキ』

なかえ よしを 作 上野 紀子 絵

ポプラ社

420円

お母さんが編んでくれたねずみくんの赤いチョッキ、ぴったり似合うでしょ。いろいろな友だちが「ちょっとかしてよ」といって次々にチョッキを着てみます。チョッキはどんどんのびていって…。言葉のくり返しと、赤いチョッキが印象的な絵本です。



## 『どろんこハリー』

ジーン・ジオン ぶん マーガレット・プロイ・グレアム え

わたなべ しげお やく

福音館書店

1,260円

黒いぶちのある白い犬のハリーは、お風呂が大きい。体を洗うブラシをかくして逃げ出します。どろんこ遊びで真っ黒になって帰ったハリーは家の人にさえわかってもらえません。ハリーのいたずらや冒険にハラハラドキドキしながら、子どもたちは共感します。



## 『はらぺこあおむし』

エリック・カール さく もり ひさし やく

偕成社

1,260円

日曜日、小さなたまごから生まれたあおむしは、おなか  
がぺこぺこ。月曜日、りんごをひとつ食べました。火曜  
日には、なしをふたつ。毎日いろいろなものを食べ、大き  
くなっていきます。食べたあとが穴になっている色彩の美  
しい絵本です。



## 『はなをくんくん』

ルース・クラウス ぶん マーク・シーモント え

きじま はじめ やく

福音館書店

1,155円

雪の下で冬を越した動物たちが、何かを感じて目を覚ま  
しました。はなをくんくんさせながら、いっせいに同じ方  
向に向かってかけ出します。見つけたのは、雪の中に咲く  
たった一本の黄色い花。春をむかえる動物たちの喜びが伝  
わります。



## 『あおくんときいろちゃん』

レオ・レオーニ 作 藤田 圭雄 訳

至光社

1,260円

あおくんときいろちゃんは大の仲よし。遊んでいると  
うれしくて、ふたりは緑になってしまいました。あおくんの  
家でもきいろちゃんの家でも「うちの子じゃないよ」と言  
われて大泣き。抽象化されたちぎりで絵が自由に動き出し、  
聞き手の心にイメージが広がります。



## 『きょだいなきょだい』

長谷川 摂子 作 降矢 なな 絵

福音館書店

840円

野原のまん中に現れた巨大なピアノの上で、100人の子  
どもがおにごっこ！巨大なせっけん、巨大な電話が次々に  
現れ、そのたびに100人の子どもは大はしゃぎ。

歌うようなリズムにのせて、「巨大」という言葉が、我  
がもの顔に登場する絵本です。



## 『ぐりとぐら』

なかがわ りえこ 文 おおむら ゆりこ 絵

福音館書店

840円

お料理すること、食べることが大好きな野ねずみのぐりとぐらは、森で大きなたまごを見つけ、カステラを作り始めました。甘いにおいに誘われて、森中の動物たちが集まります。皆で食べたカステラのおいしかったこと！「ぐりとぐら」シリーズ1作目。



## 『キャベツくん』

長 新太 文・絵

文研出版

1,360円

「ゴリラがキャベツをたべたらどうなる…?」「ノミがキャベツをたべたら…?」お腹がすいてフラフラのブタヤマさんと、おいしそうなキャベツくんの言葉のくり返しがおもしろい。

奇抜な発想とユーモアあふれる絵が想像力をかきたてます。



## 『おじさんのかさ』

佐野 洋子 作・絵

講談社

1,470円

おじさんは雨がふっても、かさをけっして開きません。大切なかさだからです。ところが、子どもたちの楽しそうな歌につられて、思わずかさを開いてしまいました。

青と黒を基調にした絵が、かさとおじさんをきわ立たせています。



## 『すいかのたね』 ばばあちゃんのおはなし

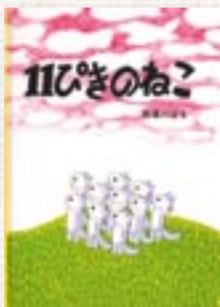
さとう わきこ さく・え

福音館書店

840円

ばばあちゃんはスイカの種をまきました。動物たちがやって来て次々に掘り返します。

「早く、芽をお出し」と怒鳴られた種は、怒ってプスンとはじけ、突然ぐんぐん大きくなりました。元気で愉快なばばあちゃんが活躍するシリーズの中の1冊です。



## 『11ぴきのねこ』

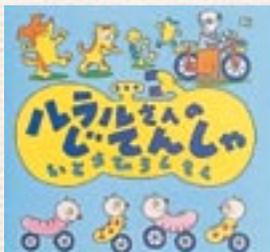
馬場 のぼる 作

こぐま社

1,260円

いつも腹ぺこの11ぴきのねこは、大きな魚をねらって、野こえ山こえ湖に行きました。ねこたちは、作戦を立て、見事大きな魚を捕まえました。ところが、その晩、真っ暗闇の中で…。

愉快な「11ぴきのねこ」シリーズの第1作。



## 『ルラルさんのじてんしゃ』

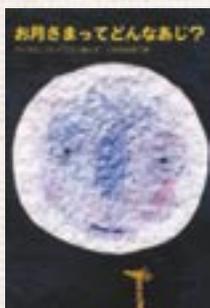
いとう ひろし さく

ポプラ社

1,260円

よく晴れた日曜日、ルラルさんは自転車で出かけます。「ぼくも乗せていてください」ねずみが言うと、庭のあちこちからいろんな動物が集まってきて、自転車の後ろは小さな山のように。

一生懸命に自転車をこぐルラルさんの姿に、声援を送りたくなります。



## 『お月さまってどんなあじ?』

マイケル・グレイニエツ 絵と文 いずみ ちほこ 訳

セーラー出版

1,575円

お月さまってどんな味なんだろう。ある日、小さなカメはお月さまをかじろうと、山に登りました。けれども届きません。カメの上にゾウが乗り、その上にキリンが乗って…。

リズムカルな文と温かみのある絵が、動物や情景を生きた生きと表現しています。



## 『おかえし』

村山 桂子 さく

織茂 恭子 え

福音館書店

840円

たぬきの隣へ引越して来たきつねは、いちごを持って挨拶に来ました。たぬきは、お返しに竹の子を。すると、又きつねが花と花びんを…。そしてついには、子どもまで渡してしまいます。エスカレートしていくお返しの可笑しさを個性的な絵が引き立てています。



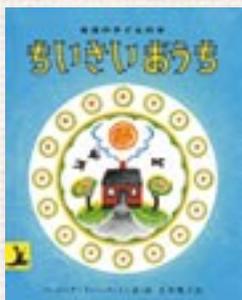
## 『カモシカとしょかん』

魚瀬ゆう子 文 水上 悦子 絵

桂書房

1,365円

二ホンカモシカのカーモくんがお散歩中、図書館で子どもたちがお姉さんに絵本を読んでもらっているのを見つけた。自分も読んでもらおうと中に入りますが、悲鳴に驚いて…。舟橋村立図書館で実際にあった出来事をもとにしてつくられた絵本です。



## 『ちいさいおうち』

ばーじにあ・りー・ばーとん ぶんとうえ

いしい ももこ やく 岩波書店

672円

ヒナギクの花にかこまれた静かな丘の上に、ちいさいおうちが建っていました。ある日、おうちのそばを自動車が走りはじめます。広い道路ができ、高層ビルが建ち並びました。

月日が流れ、気がつくと、ちいさいおうちは都会のまん中に取り残されていたのです。



## 『ひとまねこざる』

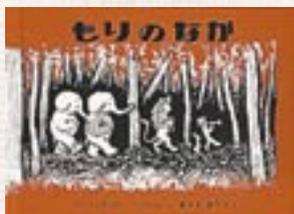
H. A. レイ 文・絵 光吉 夏弥 訳

岩波書店

672円

動物園から逃げ出したおさるのジョージは、好奇心いっぱいで大騒動をおこしてしまいます。天真爛漫で次々にいたずらをしてしまうジョージの行動は、痛快そのものです。

シンプルで明るい絵には動きがあり、言葉のリズムと相まって楽しい絵本です。



## 『もりのなか』

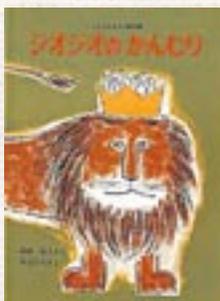
マリー・ホール・エッツ ぶん・え

まさき るりこ やく 福音館書店

1,050円

紙の帽子をかぶり、ラッパを持った男の子が森へ散歩に出かけました。動物たちが後からついて来ます。一緒におやつを食べた後、みんなでかくれんぼを始めました。

コンテのかもしだすモノトーンの世界が、森の深まりと静けさを描き出しています。



## 『ジオジオのかんむり』

岸田 衿子 さく 中谷 千代子 え

福音館書店

840円

ジオジオはライオンの王様です。ジオジオを見ると、皆そこそそ逃げ出します。でも本当はひとりぼっちで、つまらなかったのです。ある日、ジオジオは灰色の小鳥に会いました。ライオンと小鳥の心の交流を、明るい色彩で暖かく描いた絵本です。



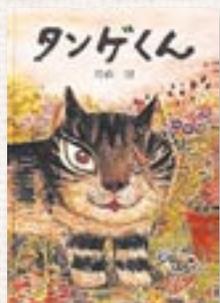
## 『はじめてのおつかい』

筒井 頼子 さく 林 明子 え

福音館書店

840円

5才のみいちゃんは、ママに頼まれて初めてひとりで買い物に行きます。車に気をつけること、お釣りを忘れないことを約束して出かけるのですが、坂道で転んでお金を落としてしまいます。初めての体験を暖かく描いた絵本です。



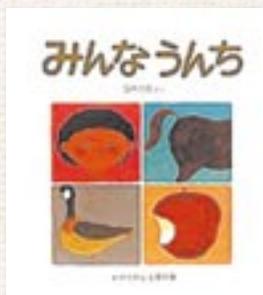
## 『タンゲくん』

片山 健文・絵

福音館書店

1,260円

ある日、晩ごはんを食べていると、猫がのっそり入ってきます。片目の立派な猫でした。タンゲくんと名づけられ、家の猫になりました。勝手気ままに暮らすタンゲくんでしたが、わたしは大の仲よしです。迫力のあるタンゲくんが絵本の中から飛出しそうです。



## 『みんなうんち』

五味 太郎 さく

福音館書店

945円

「おおきいそうはおおきいうんち ちいさいねずみはちいさいうんち」人間も含めて、いろんな動物のうんちがユーモアを交え紹介されています。「いきものはたべるから、みんなうんちをするんだ」という生き物の摂理を、リズムカルな絵と文で伝えています。



## 『はなのあなのはなし』

やぎゆう げんいちろう さく

福音館書店

945円

ぼく、あっこちゃん、おじいちゃん、よく見ると鼻の穴の形は人それぞれです。ゾウ、イルカなど動物ではどうでしょう。鼻毛、鼻血から鼻の穴の役割と仕組みまで、ユーモラスな絵と文で紹介しています。



## 『かいじゅうたちのいるところ』

モーリス・センダック さく じんごう てるお やく

富山房

1,470円

マックスはいたずらをして寝室に閉じ込められます。ところが、目の前に木がはえ、海が現れました。舟に乗り、怪獣たちの島に着くと、王様になって大はしゃぎ。ユーモラスで個性的に描かれた怪獣たちが、不思議な魅力を持つ絵本です。



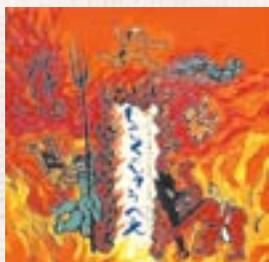
## 『すてきな 三にんぐみ』

トミー・アングラー さく・え いまえ よしとも やく

偕成社

1,260円

黒い帽子に黒マント、三人ぐみの泥棒は、毎日盗みに精を出していました。ある日、さらって来た女の子に盗んだ宝の使いみちをたずねられ、すてきなことを思いつきます。黒を基調に、赤、黄、青とコントラストのきいた絵が物語をひきたてます。



## 『じごくのそうべえ』

たじま ゆきひこ 作

童心社

1,470円

軽業師のそうべえは、綱渡りに失敗して地獄に落ちました。そこで出会った仲間たちと鬼ども相手に大あばれ、ついに地獄から追い出されてしまいます。奇想天外なストーリーに、歯切れの良い関西弁、ダイナミックな絵が生きています。



## 『モチモチの木』

斎藤 隆介 作 滝平 二郎 絵

岩崎書店

1,470円

おくびょうな豆太は、夜中にひとりで便所にも行けませぬ。ある夜、じさまが急病になり、豆太は、こわいのも忘れて山のふもとまで医者を呼びにかけだします。帰り道、医者の中で見たものは…。切り絵で描かれた世界は、美しく幻想的です。



## 『王さまと九人のきょうだい』 中国の民話

君島 久子 訳 赤羽 末吉 絵

岩波書店

1,260円

老夫婦が神様からようやく授かった九人の息子たち。宮殿の倒れた柱を「ちからもち」という名の息子が直したことから、王様は恐れをなし殺そうとします。そっくりな兄弟が次々に活躍して王様と戦います。中国の少数民族に伝わるスケールの大きな昔話です。



## 『スーホの白い馬』 モンゴルの民話

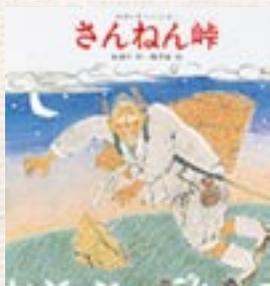
大塚 勇三 再話 赤羽 末吉 画

福音館書店

1,360円

羊飼いの少年スーホは、大切に育てた白馬を横暴な殿様に取り上げられてしまいます。けれども白馬は逃げ出し、傷つきながらもスーホの元に帰り、死んでしまうのです。

馬頭琴の由来となった話が、横長の大型絵本いっぱい描かれています。



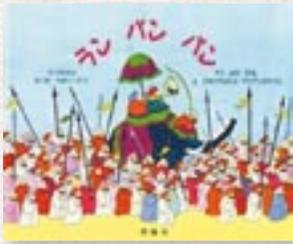
## 『さんねん峠』 朝鮮のむかしばなし

李 錦玉 作 朴 民宜 絵

岩崎書店

1,260円

「転ぶと3年しか生きられない」と言うさんねん峠で転んだおじいさんは、寝込んでしまいました。でも「2度転べば6年、4度転べば12年」と聞いて、ころころ転がっているうちに治ってしまいます。大らかで明るい朝鮮の昔話が色彩豊かに描かれています。



## 『ランパンパン』 インドみんわ

マギー・ダフ さいわ 山口 文生 やく

ホセ・アルエゴ アリアヌス・ドウイ 絵 評論社 1,260円

わがままな王様に女房を連れ去られたクロドリは、取り返しに出かけます。とげの刃をさしクルミの殻のかぶとをかぶり太鼓をたたいていくと、ネコとアリ、木の枝と川も仲間に加わりました。奇想天外なインドの昔話をカラフルでユーモラスな絵で紹介しています。



## 『だいくとおにろく』

松居 直 再話 赤羽 末吉 画

福音館書店 840円

昔、何度橋をかけても流されてしまう川がありました。そこで名高い大工が橋をかけようと川へ行くと鬼が現れ、大工の目玉と交換に橋をつくってやろうと言います。

色刷りと墨絵が交互に配された絵は大らかで、昔話のもつ雰囲気伝わります。



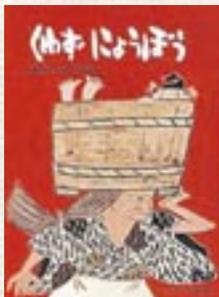
## 『だごだご ころころ』

石黒 漢子 梶山 俊夫 再話 梶山 俊夫 絵

福音館書店 1,260円

ばあさんは、ころがった団子を追いかけて鬼の世界に着きました。毎日泣き泣き鬼の団子をこしらえていましたが、ある日、赤とんぼに助けられて宝物を持って逃げ出します。

図式的な風景と豊かな色彩で、日本の昔話の世界がユーモラスに描かれています。



## 『くわすにようぼう』

稲田 和子 再話 赤羽 末吉 画

福音館書店 840円

「よく働いて飯をくわない女房が欲しい」とつぶやいた欲張り男のもとへ「嫁にしてくれ」と美しい娘がやってきました。けれども娘の正体はおそろしい鬼ばばだったのです。

厄難克服の昔話を日本画の格調高い絵で豊かに描いています。



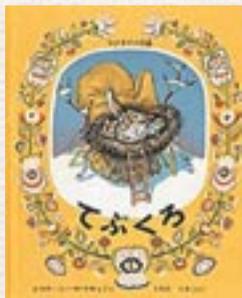
## 『くろべのツンコぎつね』

大割輝明 さく 井口文秀 え

小峰書店

1,575円

黒部のふもとの村に住む狩人が狐を退治すると、あとをついてくる小狐がいました。あわれに思った狩人は小狐を連れて帰り、一家で育てはじめますが…。人間と動物のふれあいを朝日町出身の井口さんがやわらかいタッチの絵で表現しています。



## 『てぶくろ』 ウクライナ民話

うちだ りさこ やく エウゲーニー・M・ラチョフ え

福音館書店

1,050円

おじいさんが森で落とした手袋の中に、動物たちが住み着きます。くいしんぼねずみにぴょんぴょんがえる、早足うさぎにおしゃれぎつね、灰色おおかみに牙持ちいのしし、そしてのっそり熊まで。たくさんの動物を取り込んでしまう、ラチョフの絵が楽しい。



## 『おおきなかぶ』 ロシア民話

A・トルストイ 再話 内田 莉沙子 訳

佐藤 忠良 画 福音館書店

840円

おじいさんがかぶをうえると、とてつもなく大きなかぶができました。ところが、かぶはぬけません。おばあさんから、ねこやねずみまでよんできて、やっとかぶはぬけました。

リズムカルな言葉や昔話特有のくり返し楽しい絵本です。



## 『三びきのやぎのからがらどん』 北欧民話

せた ていじ やく マーシャ・ブラウン え

福音館書店

1,050円

からがらどんという名前の三びきのやぎが山へ出かけていくと、橋の下には恐ろしいトロールが待ちました。一番小さなやぎと二番目のやぎは無事橋を渡りますが、一番大きいやぎはトロールと戦います。迫力のある絵で描かれた痛快な昔話絵本です。

## 絵本の読み方について



### あらかじめ下読みをしておく。

登場人物や場面の展開を理解しておかないと、思わぬ失敗をすることがある。



### 安定した持ち方をする。

子どもがいすに座っている時は読み手が立ち、床に座っている時はいすに座るとよい。



### 開きぐせをつける。

開きぐせが悪いと端に座った子どもは絵が見にくい上、ページをめくりにくいのでよけいな間ができる。



### 表紙から始まり、裏表紙で終わる。

絵本は表紙から物語が始まっています。表紙を見せながら題名を言い、表題紙でもう一度題名を言ってから、読み始めましょう。裏表紙を閉じた後にも表紙を見せて、もう一度題名を言う。



### めくり方に気をつける。

ページをめくる時は、手でページの上か下をめくるようにして、腕で画面をかくさないように気をつける。



### 読む速度、めくる速度を考える。

ページをめくるのもお話のうち、ゆっくりめくって長い時間の感じを出したり、さっとめくって勢いを出したりすることもできる。



### めくった瞬間は読まない。

ページをめくった時、子どもの注意は絵に集中するのでその瞬間は読まないこと。



### ゆったりと心をこめて読む。

全体がひとつのまとまりのあるお話として届くよう、途中で気をぬかずに読むこと。子どもと共に楽しむ気持ちを大切にすること。